

令和6年度学校経営計画			八王子市立中山中学校	
学校の教育目標		校訓「自主 創造 協力」 よく勉強し、よく働き、そしてよく鍛える生徒		
学校経営の基本理念		生徒の自己肯定感・自己有用感を育み、一人一人の良さを伸ばし自立に向かう基礎を培うとともに、平和的な国家、社会の形成者として必要な資質・能力を養う。グローバル化、急速な技術革新といった変化の激しい時代にあって、人と人とが心を通わせ伝え合い助け合う共生社会の中でしなやかにたくましく生き抜く人材を育成することを目指す。		
目指す学校像		目指す教師の姿		
「楽しい学校 誇れる学校」 生徒が自らの進路を自らの手で切りひらく力を育成する学校 ○わかる実感・できる喜びを味わい、自分の良さを伸ばせる学校 ○「チーム中山」として、組織的に課題を解決する学校 ○保護者が安心して子供を通わせ、相談に細やかに対応する学校 ○地域に愛され、応援される学校 ○教職員が夢をもち、いきいきと働ける学校		○生徒の良さを認め優しさと厳しさをもって粘り強く指導する教師 ○人権感覚を研ぎ澄まし、自他の人権を大切にせる教師 ○教育公務員としての使命と責任を自覚し、資質・能力の向上に励む教師 ○組織の一員として協力しあい、自分の仕事にベストを尽くそうとする教師 ○保護者や地域の方の良き相談相手となって頼りにされる教師		
領域	中期経営目標	短期的経営目標	具体的方策	評価指標
主体的 に学 び、 勉 強 し る 生 徒	○基礎・基本の定着 ○思考力、判断力、表現力等及び学ぶ意欲の向上	すべての生徒に対し基礎・基本を定着	・教材や指導方法を工夫して、一人一人に「わかる実感」「できる喜び」を味わわせる授業をする。 ・数学・英語の習熟度別指導を実施し、個に応じた指導を充実させる。 ・質問教室・自習室の開設、週3日の放課後学習教室(数学・英語)を実施する。 ・国語の朝学習(読書含む)を年間通して実施し、語彙力を高め・表現力等を育成する。 ・学校サポーター等の活用を組織的に進め、個別に支援が必要な生徒への対応にあたる。	生徒・保護者アンケート
		家庭や地域と連携した学習習慣の定着	・学校運営協議会の主催による英語検定、漢字検定を実施する。 ・一人一台の学習用端末の持ち帰りを進め、ドリルコンテンツ等を活用した家庭学習を充実させる。	地域アンケート 教職員自己評価
		学習意欲等の向上を目指した授業改善	・ICTの一層の活用を図り、1人1台の学習用端末を活用した授業改善を進める。 ・「個別最適な学び」「協働的な学び」を取り入れた授業を展開し思考力、判断力、表現力等を育成する。 ・学習指導要領の趣旨を踏まえた学習指導を展開し、指導と評価の一体化を図る。	全国・都・市学力調査等
互 い を 認 め、 支 え 合 う 生 徒	○主体性、協調性、思いやりの心の醸成 ○規範意識と社会性の育成	いじめの未然防止、早期発見・組織的な対応	・「中山中いじめ防止基本方針」に基づき、「ふれあい月間」「いじめ・いやがらせアンケート」「子ども見守りシート」等を通して、いじめを早期に発見し早期に対応する。 ・毎週月曜のいじめ対応の時間、および校内いじめ対策委員会を通して組織的な対応を図る。 ・「あいさつ運動」「あいさつプラス一言運動」を継続し、顔の見える関係づくりを推進する。 ・心の週間や二者面談、日記指導を通して、大人に相談しやすい環境をつくる。 ・「SOSの出し方に関する教育」「いじめ防止プログラム」等を通して、いじめの未然防止を図る。	生徒・保護者アンケート
		一人一人の活躍の場と安心できる居場所づくり	・楽しい学校生活を送るためのアンケートQ-U及び構成的グループエンカウンターを年間通して活用し、居心地がよく、やる気が出る学年・学級集団を作る。 ・生徒が主役の生徒会活動、学校行事を通して、当事者意識をもって企画・提案、協働して解決するという資質・能力を育み、成就感、達成感を味わえるよう指導する。	地域アンケート 教職員自己評価
		社会や集団におけるルールとマナーの徹底	・ノーチャイムの定着で、自主的・自律的に規則正しい生活を送らせる。 ・生徒が主体となり「あいさつの中山」を推進する。 ・SNS学校ルールの周知、セーフティ教室の実施を通して情報モラル教育を充実する。	
夢をもち、よく鍛えるを目指す生徒	○自ら進路を切りひらく力の育成 ○自己肯定感・自己有用感の醸成	体力向上・健康増進、安全教育	・体力テストや調査の結果を体育の指導に活かし、生徒の実態に即した授業改善を行う。 ・保健だよりや健診などの保健指導を通して健康維持に関心をもたせる。 ・避難訓練、救急救命講習、いのちの教育(赤ちゃんふれあい授業、八王子いのちの大切さを共に考える日等)の実施を通して自他の生命を尊重する教育を行う。	生徒・保護者アンケート 地域アンケート 教職員自己評価
		キャリア教育の充実	・生徒一人一人の社会的・職業的自立に向けて、1年次より系統的な指導を行い、体験的な学習を重視し、望ましい職業観や労働観を育成する。 ・地域と連携した職業調べ、職場体験学習、上級学校調べ等を実施、自らの進路を自分で決定できる資質・能力を育む。 ・自習室や質問教室を充実させ、自ら学び学力を向上させようとする生徒を支援する。 ・はちおうじっ子キャリア・パスポートを活用し、生徒が自らの成長を振り返り、将来を展望できるよう家庭と連携して指導する。	
		教育相談・特別な支援体制の充実	・SCを活用し、保護者の不安や悩みに応えられるよう教育相談を充実させる。 ・SSW等関係機関との連携や学校サポーターの組織的な活用を図り、別室登校等、不登校生徒へのきめ細やかな支援を充実させる。 ・特別支援コーディネーターを中心に関係機関と密につながり、組織的な支援を実施する。	
地域に愛される学校	○家庭・地域との連携 ○小中一貫教育の充実	家庭・地域との連携	・ホームページや学校だよりの更新・発行を通して学校の様子を発信する。 ・学校運営協議会で年間を通して学校の課題解決に資する意見交換を行う。 ・地域清掃、合同防災訓練等へのボランティア派遣を通して、郷土愛を育む。 ・青少年対等地域との連携を深め、各種行事に積極的に生徒や教職員が参画する。 ・地域と生徒の交流ひろば「中山カフェ」の定着を図り子どもの居場所づくりを進める。	
		小中一貫教育の推進	・中山小学校・高嶺小学校とともに育てたい児童・生徒像を共有し、小中一貫教育の日を年3回実施し、共通の課題をもとに教職員が交流し、授業参観、研究協議、情報交換を行う。 ・児童・生徒交流(部活動見学や授業体験、リトルティーチャー、はちおうじっ子サミット、学校行事)を通して、上級生としての自覚をもたせ、中学生への「憧れ」を醸成する。	
今年度の重点課題	①生徒理解に基づく生徒指導のさらなる推進		・「チーム中山」全教員、地域、保護者が協働し顔の見える関係づくり、大人に相談しやすい環境をつくる。 ・いじめ対応の時間、校内いじめ対策委員会等を適切に運営し、いじめ対応、未然防止に組織的にあたる。 ・学校サポーター等の組織的な活用を図り、別室登校等、不登校生徒へのきめ細かな支援を充実させる。	
	②わかる実感「できる喜び」をどの子にも味わわせる授業改善		・「個別最適な学び」「協働的な学び」を取り入れた授業を展開し思考力、判断力、表現力等を育成する。 ・学習指導要領の趣旨を踏まえた学習指導を展開し、指導と評価の一体化を図る。 ・放課後学習教室や質問教室、自習室の運営、学習用端末の活用を進める。	
	③自己有用感や自己効力感等、自尊感情を育む活動を推進		・行事や学級活動を通して一人一人が所属感や自己有用感を味わえるようにする。 ・各学級において年間を通して、構成的グループエンカウンターを取り入れる。 ・奉仕活動や地域行事へのボランティア活動に積極的な参加を促し郷土愛を育むようにする。	
	④八王子市の方針に基づく部活動改革の推進		・ウインタータイムを導入し広域部活動や校外の活動にも取り組みやすいよう時間を確保する。 ・令和8年度に向けて家庭・地域との連携により持続可能な学校部活動への移行を進める。 ・「中山カフェ」や地域クラブ、保護者組織に対して、学校施設の開放を進める。	